

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！



パート・非常勤連絡会ニュース No.4

大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連パート・非常勤連絡会

2012. 6. 29

第20回非正規全国交流集会の578人参加

6月2日(土)～3日(日)、パート・派遣など非正規で働くなかまの全国交流集会が岡山で開催され、大阪から24名が参加しました。オープニングは、地元岡山の岡山保育団体連絡会・岡山市職労と子ども達による歓迎の「うらじゃ踊り」で元気に始まりました。記念講演は、暮らしと経済研究所室主宰の山家悠紀夫さんより「望ましい社会」に向かってと題して、社会保障と税の一体改革の中身や、TPP、日本経済について詳しく話をいただきました。今、日本経済の建て直しのためには、労働者の賃金を引き上げることがもっとも必要であり、そのためには労働組合の役割が大きくなっていることが語られました。



記念講演：山家悠紀夫氏



三匹の仔豚で、労働組合の大切さを分かりやすく説明してくれた神奈川生協労組の皆さん

震災から1年2ヶ月たった被災地からは、岩手県大船渡市でヘルパーとして働く伊藤裕子さんより報告があり、避難所はなくなったものの冬寒く夏は暑い仮設暮らしのなかで、雇用や暮らしの再建に向け頑張っている報告に参加者も涙していました。

リレートークでは、①待遇改善・組織拡大に奮闘する生協労連コープ山口の平島真木子さん。②劣悪な労働条件を改善しようと岡山市職労臨時保育士支部で組合を結成した麻田利恵さん。③派遣労働者の労働条件改善、解雇撤回を求める日系ブラジル人の闘いを支援する岡山地域労組書記長・藤田ひろたけさん。④非正規自ら動いて組合員を倍加、パートの昇給制度もつくらせた北海道勤医協労組の井澤よしえさん。⑤3年までとなっていた雇用期間を撤廃させた福岡福祉保育労杉の子保育園分会笠



原智美さん。⑥職安などで働く非常勤職員の労働条件改善めざし取り組む全労働岡山支部の森岡直樹さん。⑦人間らしい生活を送るには、賃金は最低いくら必要かを調査した広島パ臨連の大内理恵さんから7名から報告がありました。最後に、全国で派遣切り裁判などで闘っている争議団のみなさんが紹介され、代表してマツダ派遣切り裁判原告団の佐藤つぎのりさんが発言しました。



全国から争議で闘う14団体の仲間が集まりました。
JMIUダイキン工業の青山さんの闘いも紹介されました。

2日目

二日目は、分科会・入門講座に分かれてそれぞれのテーマで学習、交流を深めました。分科会終了後、参加者全員で岡山駅までパレードを行いました。



大阪の仲間も元気いっぱいパレードに参加しました！！

